

10月21日：決算発表が近づきベトナム株は下落

ベトナム株は8営業日続伸から後退、投資家が決算シーズンの終わる前に利益確定に動いた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.57%安の939.03ポイントで取引を終えた。取引時間中には0.4%ほど上昇する場面もあった。

VN指数は8営業日続伸で上昇ラリーを終えることとなった。合計で2.78%ほどの上昇を記録した。

直近の3営業日は上昇幅が狭まっていた。

水曜日には中小型を含む3指数がすべて下落した。

VN30指数は0.37%安の906.10ポイントで取引を終えた。VN30先物は0.29%安の908.50ポイントで取引を終えた。

中小型指数はそれぞれ1.24%、0.68%安となった。

金融、銀行セクターが下げを牽引した。いくつかの大型株が第3四半期決算を発表した。

ベトコムバンク（VCB）は1.7%安、ベティンバンク（CTG）は3.3%安、バオベトグループ（BVH）は3.7%安、TPバンク（TPB）は2.5%安となった。

大手証券4社のSSI証券（SSI）、ホーチミン市証券（HCM）、VNダイレクト証券（VND）、ベトキャピタル証券（VCI）はすべて下落した。

第3四半期決算では、ベトコムバンクが純利益が25%減の4兆ドンとなり、不良債権が36%増加したと発表した。

TPバンク（TPB）は純利益が26%増の7920億ドンとなったが、不良債権は60%増加した。

大手証券ではベトキャピタル証券だけが第3四半期決算の減益を発表した。

その他のセクターでは、IT、小売、鉱業、エネルギー、水産加工、農業などに売りが集まった。

それらの銘柄は利益確定圧力に苦しんだと Thanh Cong 証券はデイリーレポートで報じた。

VN 指数は 945 ポイントを超えるのが難しいと同社は述べる。相場は下落を続け、第 3 四半期決算の結果によってもまちまちの動きとなるだろうと予想した。

流動性は 20 日平均よりも低水準で売り圧力はそれほど強くないとサイゴンハノイ証券は語った。

相場を押し下げるのは利益確定の動きだと同社は報じた。

下値を支えるのは 925 ポイント付近であると同社は予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.25% 安の 139.98 ポイントで取引を終えた。

同指数は直近 2 営業日で 0.65% 安となっている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。